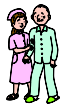
下肢静脈瘤手術（局所麻酔）を受けられる患者様へ

患者ID（ @PATIENTID ）　患者氏名（ @PATIENTNAME ）　担当医師（　　）　受け持ち看護師（　　）

月日	（　／　）	（　／　）	（　／　）	（　／　）
経過	手術当日(前)	手術当日（後）	術後1日目	術後2日～退院まで
達成目標	落ち着いた気持ちで手術を受けられる 手術に対する不安を看護師に伝えることができる	37.5度以上の発熱なく過ごすことができる 手術した傷の状態が良好である 痛みがある時は我慢せず看護師に伝えることができる	37.5度以上の発熱なく過ごすことが出来る 手術した傷の状態が良好である 痛みがある時は我慢せず看護師に伝えることができる	37.5度以上の発熱なく過ごすことが出来る 手術した傷の状態が良好である 痛みがある時は我慢せず看護師に伝えることができる
治　療	手術は、　時　　分頃からです	酸素吸入や心電図モニターをします 弾性包帯を手術室で巻きます 手術室で抗生剤の点滴をします 病室に戻った後も1時間酸素吸入と心電図モニターをつけます	朝8:30頃より医師の診察があります 	
処　置	手術をする部分をきれいにします （ストリッピング術）			
薬　剤	ご持参の薬を確認させて頂きます ので看護師へお渡しください 	痛みがある時や気分が悪い時は 我慢せず看護師へ伝えてください	→	→
安静度	トイレを済ませ、術衣・T字帯に着替えます 歩いて手術室へ行きます	手術の後、1時間ベット上安静です トイレまでは歩行可能ですが 始めて歩くときは看護師が付き添います 	病棟内は自由です →	→
栄養	特に制限はありません →	→		→
清　潔	手術着に着替えます お化粧は落としてください 指輪・マニキュア・腕時計はとってください	落ち着いたら手術着から寝衣へ着替えます	あたたかいタオルで体を拭きます	シャワーが可能です
排　泄	手術室へ行く前にトイレを済ませておいて下さい	手術後トイレまで歩行される際は 必ずナースコールを押してください	特に制限はありません →	→
教　育 指　導 説　明	看護師より入院生活の説明をします	ご本人に手術の結果の説明をします 	弾性包帯から持参の弾性ストッキングに変えます	出血や創部の痛み、頭痛等がなければ 退院後の注意点や次回外来の説明を行います

（VS004-02）福岡東医療センター 血管外科 2016年7月改訂